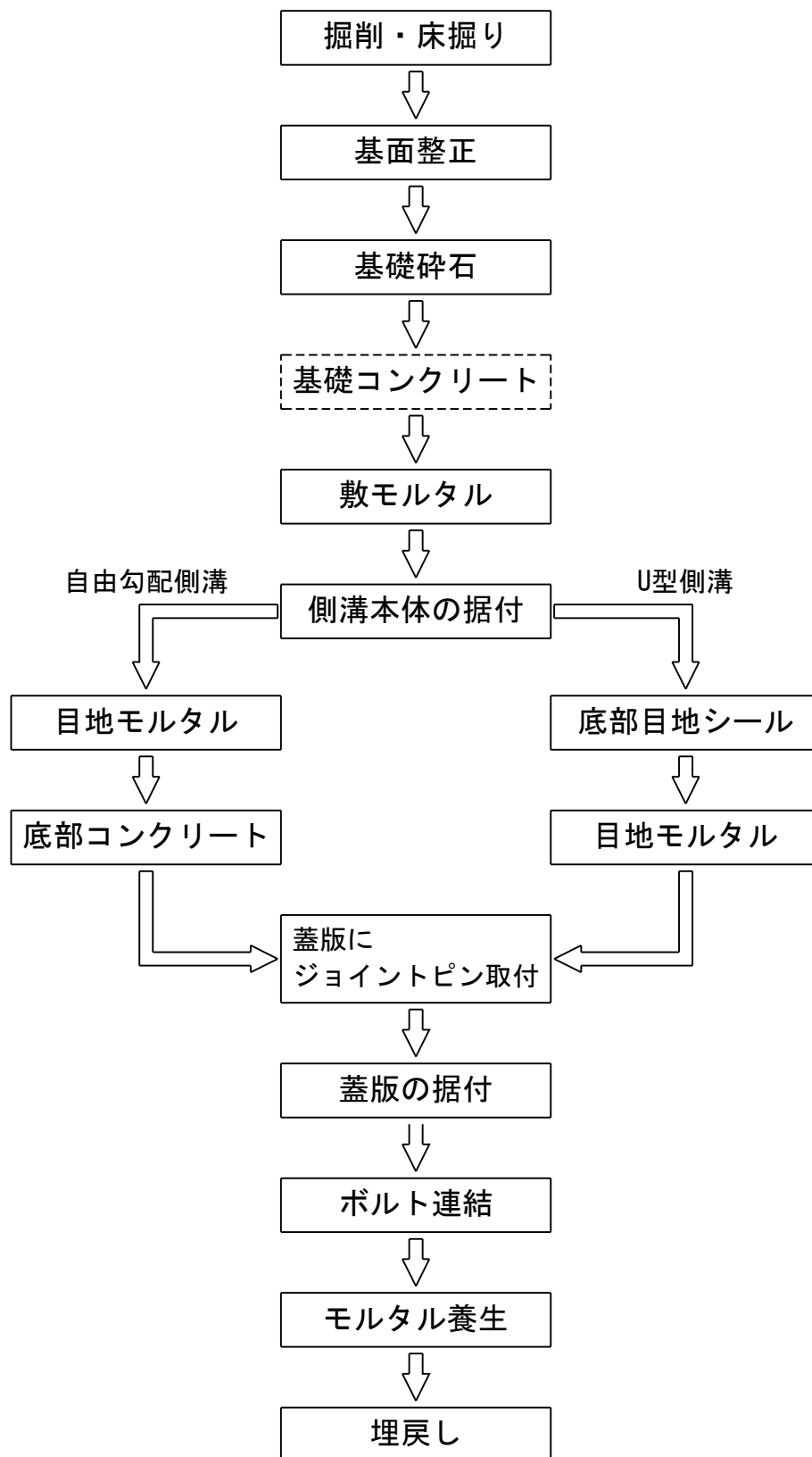
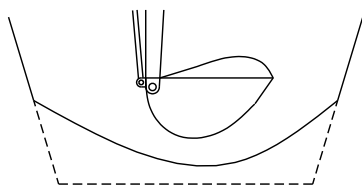


「マルチ-U」 施工要領

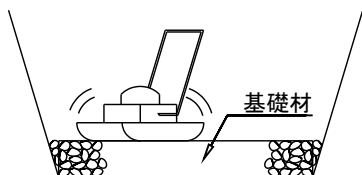
固定蓋タイプ



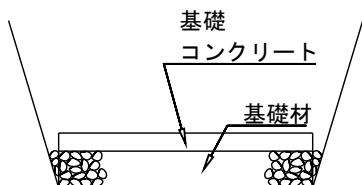
1. 基礎工



計画の地盤まで掘削・床堀を行い、基面整正をします。



基礎材を敷き均し、所定の厚さに転圧します。

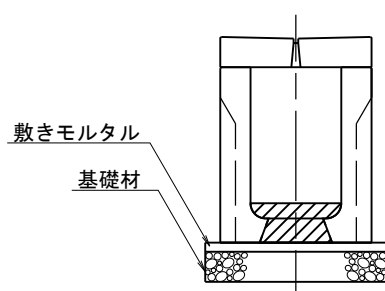


必要に応じて基礎コンクリートを打設します。表面を平滑に仕上げ、所定の養生を行います。

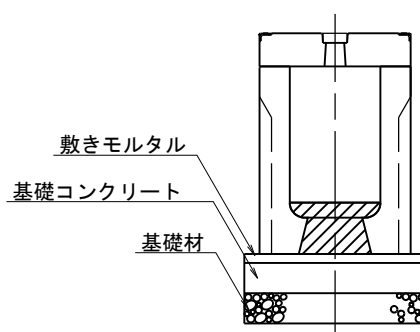
基礎工設置状況

標準断面図【参考】

縦断用



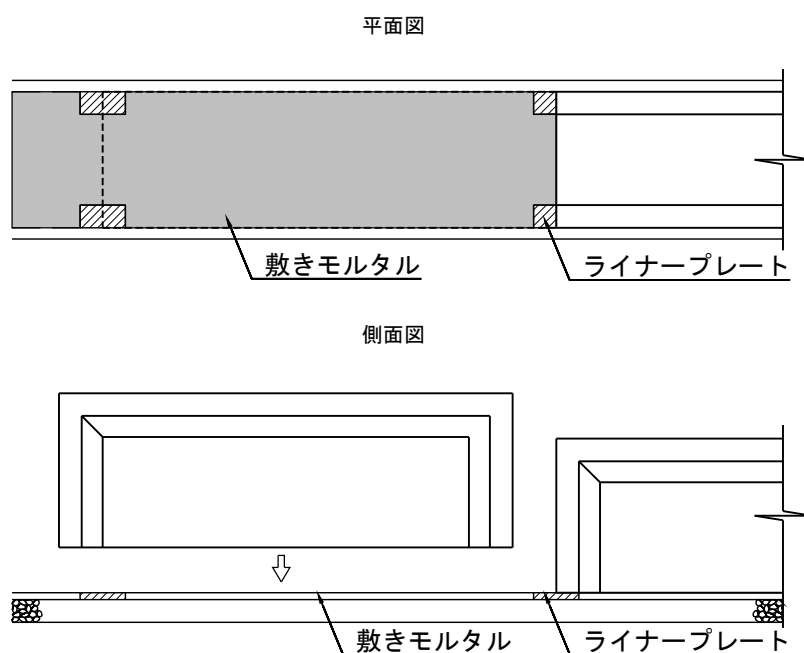
横断用



2. 設置準備

基礎上に不陸調整のためモルタルを敷き均します。

製品の据付け箇所の四隅にライナープレートを計画高さに合わせて設置しその間にモルタルを敷き均し平滑に仕上げます。



製品を吊上げ、所定の位置に据付けて高さの調整を行います。

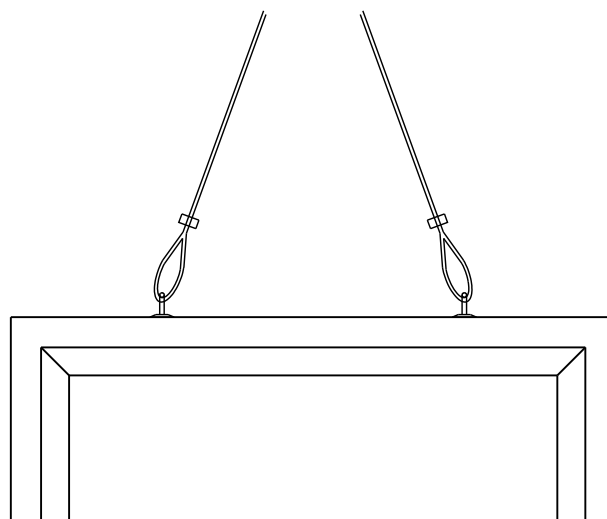
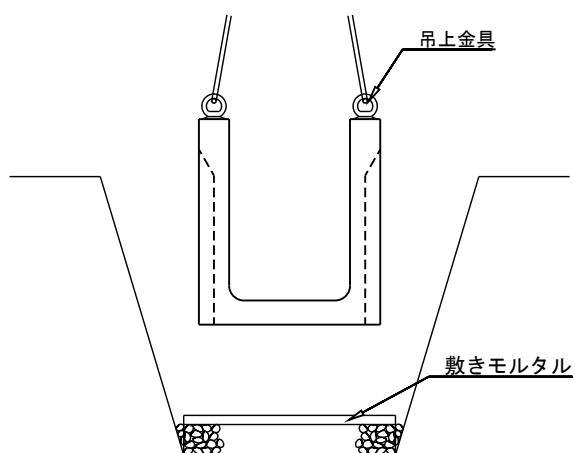


レベル確認



モルタル敷均し

3. 側溝本体の設置



吊上げワイヤーの径・吊上げ角度に注意して慎重に吊上げます。

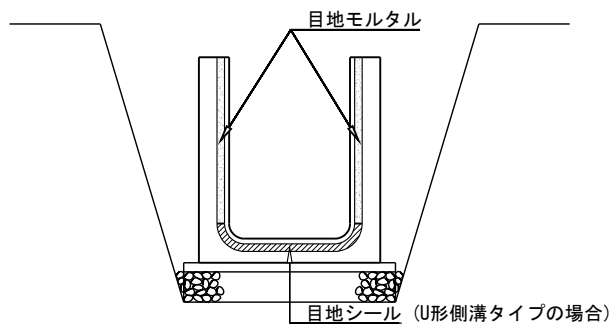
丁張・水系などを目安に所定の位置・高さに設置します。



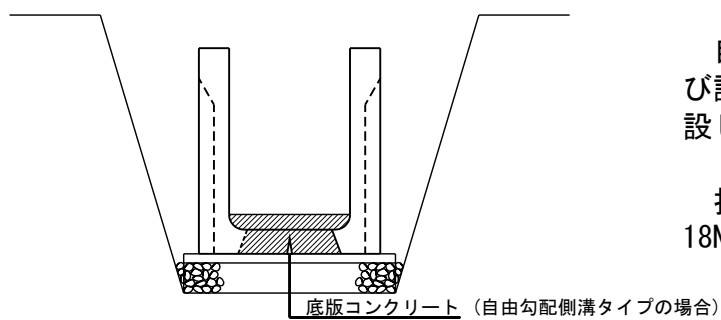
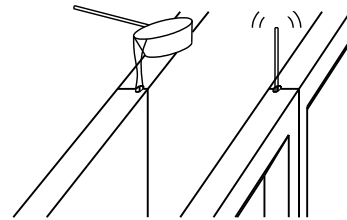
本体設置状況



本体設置完了



目地孔にモルタルを突き棒等で充填します。



自由勾配側溝タイプは、底板開口部及び調整コンクリート(厚さ50mm以上)を打設します。

打設するコンクリートの設計基準強度は 18N/mm^2 以上とします。



インバートコンクリート打設状況



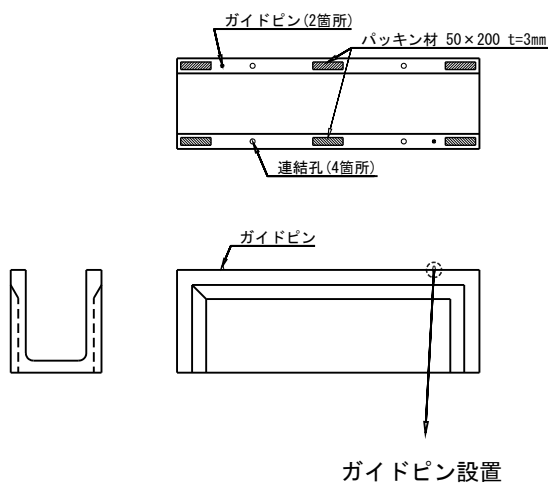
インバートコンクリート仕上げ状況



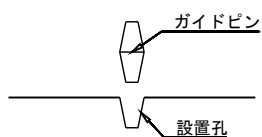
インバートコンクリート仕上げ完了

4. 蓋版の設置

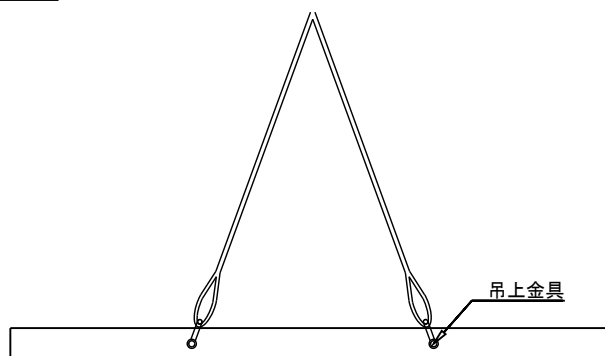
側溝本体の側壁天端にパッキン材を貼り付けます。



パッキン材貼付状況



ガイドピンを設置孔(対角2箇所)に設置します。



本体と同様に、ワイヤーロープに専用の吊上金具を取付け、製品の吊上げインサートに設置します。



蓋版吊上げ状況



蓋版施工状況

位置を確かめながらゆっくり吊り下ろします。

注意：蓋と本体の間にライナー等を用いて高さ調整をしないで下さい。破損の原因となります。



連結ボルト及び連結状況

付属のボルト・ワッシャーを使用して、蓋と本体をしっかりと固定します。

専用工具を用いてボルトをしっかりと締め付けます。締め付ける強さは乗用車のタイヤホイールを締め付ける程度を目安にして下さい。(106N・m)



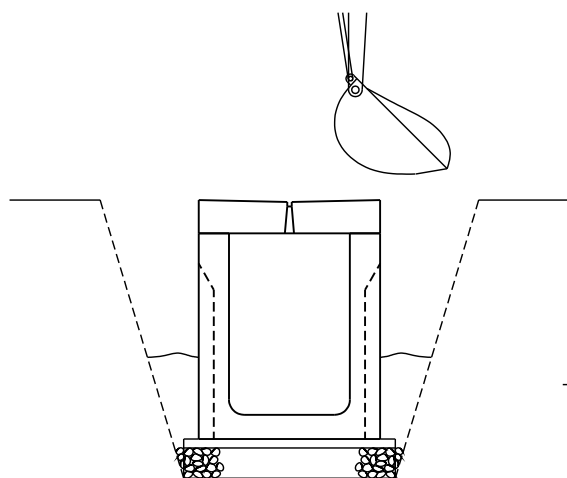
連結ボルト用六角レンチ

蓋版のボルト固定後、無収縮モルタルを充填して平滑に仕上げます。

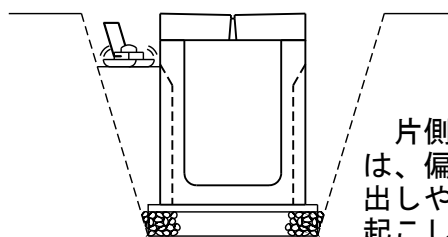


穴埋め状況

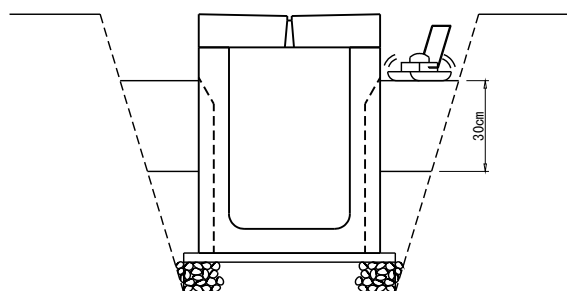
5. 埋戻し



埋戻しは、側溝の左右を均等に行います。



片側だけ先行した埋戻しは、偏加重による側溝の滑出しや、側壁の破損を引き起こします。



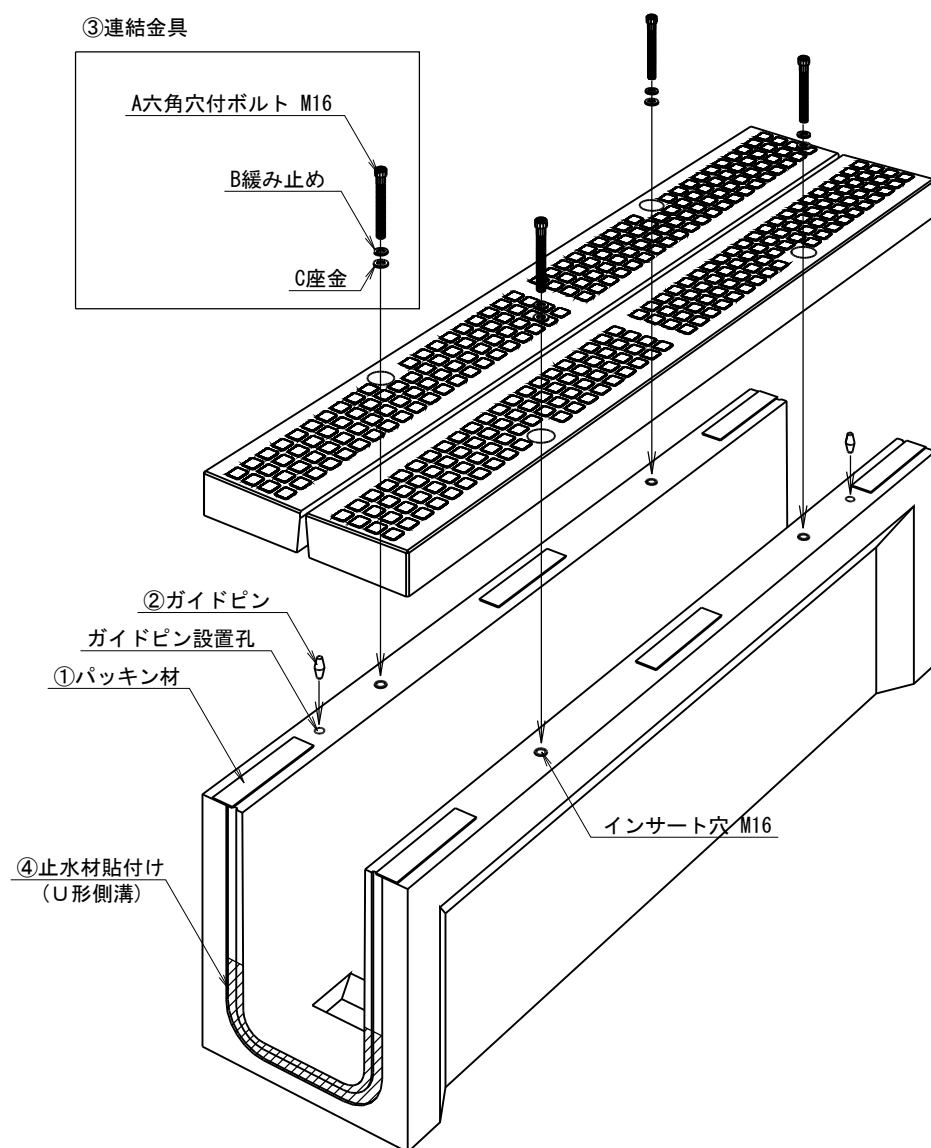
埋戻しは、一層30cm程度毎に振動転圧を行います。

特に水路が深いサイズは、過剰な土圧が作用する可能性があるので注意をしてください。

5. 連結ボルト穴埋め

無収縮モルタルを用いて、連結ボルト穴を埋めます。
配合は使用する商品の取り扱い説明書に従ってください。

マルチU固定蓋タイプ組立図



MU固定蓋タイプ部材表(1本当り)

番号	名称	数量	単位	備考
①	パッキン材	6	枚	
②	ガイドピン	2	個	
③	連結金具	4	組	1組=A・B・C各1個
④	止水材	2	本	U形のみ

*連結ボルト穴埋め用に無収縮モルタルを充填します。
無収縮モルタルは別途ご用意願います。